

【活用にあたって】

テレビ番組の影響もあって、現在は俳句の人気が高いようです。子どもたちは既に耳なじみがあることでしょう。

4年生のこの単元は、「短歌や俳句を音読して情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じることができる」という学習目標です。美しい写真とともに見出しが俳句になっているこの記事を活用することで、その学びをより深められるのではないのでしょうか。記事は先生が読んで下さい。

解答例

問1：俳句のリズムを確かめながら音読できるとよいと思います。

問2：花いかだ

問3：日本のさくら名所百選

発展①：季語：花いかだ

春の季語一例（春がつくもの）春・春の朝・春祭
（生き物）蝶・蜂 （食べ物）浅蜆・蛤・若布
（独特な言葉）東風・山笑ふ など

発展②：季語を入れ、音数を確かめながら作成できていればよいでしょう。また、交流の際には互いの俳句を音読し、その後で感想を言い合えると良いと思います。